



学びの虹

東京都立鹿本学園

校長 庄司 伸哉

東京都江戸川区本一色2-24-11

電話 03-3653-7355

「やってみよう・前進」PTA 臨時総会開催！

1月から校舎内に新しい掲示物が登場しました。平成28年に書家の森大衛先生に揮毫していただいた「やってみよう」と「前進」がそれぞれN部門とS部門のスクールバス昇降口に掲げられました。初めからどうせできないなどとあきらめないで、とにかく「やってみよう」という気持ち、行動しようとする情熱が大切だと皆を励ましています。日々の経験を生かして少しずつでも「前進」すること、前に進むから改善や工夫が生まれ、成功に至る得難い経験が味わえると考えます。

さて、1月20日（月）にPTAの臨時総会が開催されました。今回の臨時総会は、来年度以降のPTA活動が円滑に行われるようPTA組織の改革（規約の改正）をすることが目的です。事前に御家庭に配布した総会資料にも示してあるように、これまでのPTAは本部役員やグループ委員が中心に活動を行っていました。そのため役員やグループ委員に対する負担感から引き受けてくださる方が少ない等の課題がありました。これらの課題を踏まえ、まずPTA活動の縮減を図りました。同時に役員、委員以外の会員にも「サポート会員」として年間一回は何らかの形でPTA活動に参加していただき、会員全員に広く薄くPTA活動に関わっていただく組織に変えていくこととなりました。PTAの重要な役割は保護者と教職員が一体となって教育環境の改善充実のために活動することです。行政機関への要望もPTAという組織体があって叶うことなのです。特別支援学校の教育環境はPTAの活用により大きく改善されてきましたが、学齢期以降の福祉や生涯学習の充実のために、今後もPTAの果たす役割は重要です。本校は全保護者と全教職員がPTA会員になっております。「やってみよう」「前進」の言葉のもと、持続可能なPTA活動を進め、鹿本学園の全ての保護者教職員の力を合わせて子供たちのために頑張ってください。

東京都小学生科学展で発表しました！

東京都教育委員会が主催する、令和元年度東京都小学生科学展が1月10日（金）から13日（月）まで、江東区青海にある日本科学未来館で開催されました。本校からはS小児童の研究が2年連続で選ばれました。研究主題は「コンピュータから、色を伝達するしくみについて」です。13日には他の小学生に混じって研究発表をしました。昨年より余裕を感じさせる発表で質問にも落ち着いて答えていました。他の小学生の研究についても疑問に感じた点を論理的に説明しながら質問していました。このように多くの人前で発表や議論ができることは、これからの時代を生きる子供たちにぜひ身に付けてほしい資質・能力です。これからも鹿本学園は子供の言語能力の向上のため、また共生社会実現のための人材育成に取り組んでまいります。

江戸川区新年賀詞交換会に参加しました

1月7日（火）にタワーホール船堀で行われた江戸川区新年賀詞交換会に参加しました。斉藤猛江戸川区長のお話の中で、江戸川区7か所のスポーツ施設で「スポーツコンシェルジュ」を宣言し、スポーツに関する相談・コーディネート事業を始めたとの紹介がありました。その中で注目されるのは、障害者が自分に合ったスポーツを探せるようにスポーツに関する相談機能の強化を図ったということです。ぜひこの相談窓口を活用して児童・生徒が生涯を通じて親しめるスポーツを見つけてほしいと願っています。

本校は江戸川区が力を入れているボッチャの普及・啓発に協力するとともに、未来のパラスリート育成事業にも児童・生徒を派遣するなど育成にも力を入れています。これからの学園生の活躍に御期待ください！

鹿本学園校長 庄司 伸哉

～ S部門 訪問学級紹介 ～

S部門訪問学級には、小学部9名、中学部2名、高等部2名の児童・生徒が在籍しています。授業は、一人一人の健康状態や御家庭の御都合等を考慮して時間割を組み、週3回（1回2時間を標準として）、御家庭や短期入所先の病院等へ訪問して行っています。小学部では、人との関わりを中心に、外界に興味・関心をもてるようにしていくことを大切にしています。中学部では、小学部での学習の積み重ねを基に、自立活動や教科学習を中心に、外界をとらえる力を高めることを目標としています。高等部では、卒業後の進路や社会参加を視野に入れていくことや、福祉制度の活用の可能性を広げていくことも重要な課題としています。授業では、一人一人の健康状態や課題に応じて、音楽（歌遊びや楽器を使った活動）、国語・算数／数学（読み聞かせやパネルシアター・タブレット端末を使用した学習）、図画工作／美術（感触あそびや制作活動）等の教科学習、自立活動（身体の手組み）、生活単元学習（季節に沿った単元や調理単元）等を行っています。御家庭の御理解・御協力のもと、一对一の個別対応を行うこともあり、丁寧に関わり学べる良さを活かして取り組んでいます。

その他、可能な場合は「友達と一緒に学ぶ」ことや「集団参加」などを目的に、学校や校外でスクーリングも行っています。健康状態に十分配慮しながら可能な範囲で授業や行事へ参加し、学年・学習グループの友達や教職員と共に、人間関係や学習の機会を広げています。また、学年・学習グループ通信などを通して、訪問生の様子をお伝えしています。様々な形で皆さんと交流し、相互に理解を深め合えることを願っています。

S部門 中学部 訪問担当 吉江 菜穂子

進路指導の取り組み（サポートデスク）

《S部門》

高等部3年生においては2月上旬には進路先がほぼ決まり、卒業後の生活が具体的に見えてくることでしょう。在学中は、卒業後の生活を本人と御家庭とで少しずつイメージしていくことが大切です。学校としての具体的な取り組みとしては、中学部3年・高等部2年・3年で就業体験を行います。就業体験では施設内の活動が本人に合っているかを確認する機会です。保護者の皆様におかれましては、事前に多くの施設を見学しておくことをお勧めします。中学部3年生、高等部1・2年生は、進路希望調査を基にししながら、3学期の個別面談等で進路のお話をさせていただきます。不安なことなどありましたらいつでも御相談ください。

S部門 進路指導主任 齋藤 信子

《N部門》

N部門は、中学部を卒業すると全員が鹿本学園を離れます。中学部3年生は、1学期に学校見学に行き、夏休みには自分が進学する学区の学校で事前相談を全員が行い、2月に入学相談を迎えます。今は面接の練習など、目前に迫った入学相談に向けて大詰め学習をしています。「中学部を卒業して、高等部に行きたい。」という気持ちをもてるように、段階的に指導をしています。今年度から、高等部卒業後の施設の見学を中学部2年生、3年生が行いました。今後も各関係機関との連携をさらに深めていくとともに、生徒一人一人に応じたきめ細かい指導を目指していきます。

N部門 進路指導担当 佐々木 亜衣